

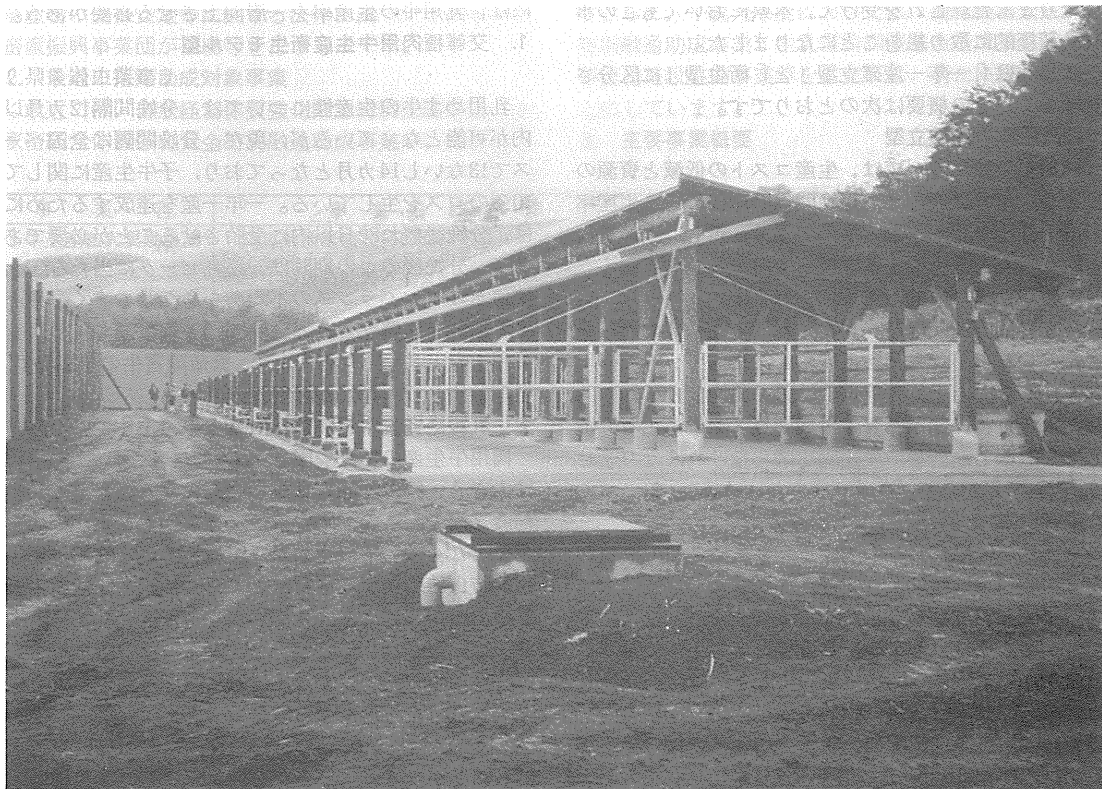
畜産みやぎ

発行所
仙台市青葉区上杉一丁目2番16号
宮城県畜産会
電話 (262-9180)

編集発行人 百井 英一

定価 1部60円

印刷所 K K 東北プリント



開放式「低コスト肥育牛舎」：宮城県農業公社白石牧場

もくじ

- 素牛生産効率向上推進事業の概要について…… 2
- 指定助成対象事業について…… 3
- 第3回東日本和牛能力共進会について…… 5
- 平成元年度宮城県畜産会事業の概要…… 6
- 「仙台牛」取扱指定店について…… 7
- 第7回間接検定フィールド検定結果について…… 8
- と畜検査からみた豚の慢性疾病の発生とその対策…… 9
- 随 想…… 9
- 肉専用子牛の種雄牛別市場取引状況……10
- 人の動き……10

素牛生産効率向上推進事業 の概要について

宮城県畜産課

国では、来たるべき牛肉の自由化に対応するための施策の一つとして、肉用牛生産コストの低減と資源の拡大を図るため、標記事業を今年度から実施することになりました。これを受けて、本県においてもこの事業に積極的に取り組むことになりました。

本事業は「一年一産確立型」と「衛生型」に区分されており、その概要は次のとおりです。

○ 一年一産確立型

肉用牛生産については、生産コストの低減と資源の拡大が大きな課題です。分娩間隔の短縮による生産率の向上はその基本となるものであり、新しい生産技術の開発普及とともに、基本技術の向上・確立を図ることは重要かつ効果的な対策であります。

現在の分娩間隔は13～14ヶ月程度となっており、子牛生産率においても85%前後にとどまっているのが現状です。このため飼養管理の改善、分娩後の早期的確な人工授精、繁殖障害の早期発見・治療により分娩間隔を短縮し、一年一産達成を図らなければなりません。

事業内容

実施地域は県内の中核的繁殖和牛飼養地域（繁殖和牛250頭以上飼養地域）で、2ヶ所をモデル地域として、平成元年度から3年度まで実施する。

1. 一年一産確立モデル推進事業（事業主体：県）

モデル地域内に専門技術者等による推進組織を作るとともに、飼養管理等についての巡回調査、技術向上のための資料の作成配布、講習会による技術の啓蒙普及を実施する。

2. 一年一産確立モデル実証展示事業（事業主体：農協）

モデル地域内の繁殖農家において、繁殖管理台帳を作成・記帳し、獣医師・人工授精師による分娩後早期（80日以内）の的確な人工授精の促進および繁殖障害

牛の摘発・治療を行う。

以上により一年一産の達成・確立をモデル的に推進し、生産率向上による低コスト肉用牛資源の拡大を図る。

○ 衛生型

わが国における牛肉生産の約70%は、酪農経営から生産される乳用種によって担われている。今後、増大する牛肉需要に見合った肉用牛生産の拡大を図るためには、乳用牛の生産率を一層向上させる必要がある。

1. 交雑種肉用牛生産衛生モデル型


（事業主体：県）


乳用めす牛の生産性については、分娩間隔12カ月以内が可能となっているが、現在、分娩間隔は全国ベースで13ないし14カ月となっており、子牛生産に関して10%のロスを生じている。一年一産を達成するためには、分娩後概ね80日以内に受胎させることが必要であるが、分娩後のこの期間は、泌乳ピークに当たるため、繁殖ホルモンバランスの不均衡をきたしやすく、種々の繁殖障害が懸念され、分娩間隔短縮に際しての阻害要因となっている。このため、繁殖障害牛の早期発見、早期治療及び早期妊娠診断を推進する。

2. 乳雄肥育素牛損耗防止対策（事業主体：県）


肉用牛生産の拡大を図る上で、家畜疾病による損害は大きく、特に、哺育育成期間における死産率は10%程度と高く、この期間の損耗防止を図ることが極めて重要となっている。従来から実施している乳用雄子牛損耗防止特別モデル事業においては、家畜保健衛生所等の濃密指導により、死産率が4%程度に改善されてきている。これらのことから、緊急にその防止対策を広く乳雄肥育素牛哺育育成施設に適応普及することにより損耗防止を達成する。

具体的には、乳雄肥育素牛の導入に際しては適正な初乳給与がなされているかをチェックし、また細菌・ウイルス性疾病の発生防止について濃密指導を行い、地域への普及を図る。





飼い上手 育て上手は……
あなたの……で
動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷



本店	山形市蔵王成沢字町浦491～2	TEL 833121
山形店	山形市太白区山田字羽黒堂5番216	TEL 2454306
仙台店	鶴岡市大字布目字東通り57-1	TEL 240963
鶴岡店	いわき市常磐湯本栄田3	TEL 246440300
いわき店		

ビフィズス菌は

~~~~~  
ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。  
~~~~~

活きたまま腸までとどきます。

● **ビヒダス** ●

ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社
名取市飯野坂五丁目1番3号
☎ (022) 384-5181

指定助成対象事業について

宮城県畜産課

1. 指定助成対象事業とは

国の施策を促進するために必要な事業、畜産をめぐる情勢の変化に対応し緊急に行う必要のある事業及び国の補助事業の補完・円滑化のための事業について、畜産物の価格安定等に関する法律に基づいて実施される畜産振興事業団が補助等を行うものです。

2. 最近の指定助成対象事業

最近では、畜産経営体質強化緊急特別指導事業、大家畜経営体質強化資金特別融通助成事業や、低コスト

生産推進対策事業等中・長期的な観点から足腰の強い畜産経営の育成と生産の拡大を図るための生産・経営対策、又は食肉の流通消費合理化促進事業、食肉等流通施設整備事業等の流通・消費対策を実施して、良質で安価な畜産物の安定供給に資することとしています。

特に、昭和63年度においては、畜産関係自由化関連対策の一環として、肉用子牛の価格安定対策、肉用牛の肥育経営安定対策、牛肉の流通合理化対策等が拡充又は追加されたところです。

さらに、平成元年度においては、養豚経営安定資金特別融通助成事業、生乳需給調整基金造成事業、食肉等流通施設整備事業等を拡充又は、新たに実施することとしています。

3. 主要事業概要

事業名	事業のねらい	事業内容
子牛生産拡大奨励事業	肉専用種繁殖経営における子牛生産拡大意欲の向上を図ることにより、牛肉生産の基礎となる繁殖雌牛頭数の拡大と経営の維持強化に資する。	① 子牛生産拡大奨励事業 子牛生産拡大計画に即し肉専用種繁殖雌牛の飼養規模の拡大を行った対象子牛（基金母牛から生産されたもの）の生産者が当該対象子牛を市場出荷等により販売又は8カ月以上育成した場合には、当該生産者に対し、対象子牛1頭当たり2万円以内の子牛生産拡大奨励金を交付する。ただし、奨励金を交付する場合の肉専用子牛価格価格の上限（1頭当たり35万円）を設け、価格がこれを下回っている場合のみ奨励金を交付する。 ② 子牛生産奨励事業 肉専用子牛の四半期平均価格が1頭当たり30万円を下回った場合には、対象子牛（基金母牛から生産されたもの）を市場出荷等により販売した対象子牛の生産者に対し、対象子牛1頭当たり1万円以内の子牛生産奨励金を交付する。（ただし、肉専用種繁殖雌牛の飼養規模を縮小した者には交付しない。）
肉用牛繁殖基盤緊急強化事業	肉用牛生産の安定的拡大と生産性の向上を図るため、繁殖雌牛の増頭又は子牛生産の担い手の育成を促進し、肉用牛繁殖基盤の強化を緊急に行い、もって肉用牛生産の増大と合理化に資する。	① 繁殖雌牛増頭奨励金の交付 雌牛を自家保留又は購入した生産者が、繁殖雌牛の飼養頭数を増頭した場合、当該生産者に対し、増頭した繁殖雌牛1頭当たり5万円以内の繁殖雌牛増頭奨励金を交付する。（この場合、県外から雌牛を購入した場合には加算奨励金を交付） ② 雌牛効率利用奨励金の交付 肥育の用に供する目的で雌牛を導入した肥育経営者等が、繁殖に供するため当該雌牛を受胎させ、繁殖雌牛の飼養頭数を増頭した場合、当該肥育経営者等に対し、増頭した繁殖雌牛1頭当たり2万円以内の雌牛効率利用奨励金を交付する。（この場合、県外から雌牛を購入した場合には加算奨励金を交付）

発育促進・食欲増進・栄養補給に

バイミルク

ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤

日本全薬工業株式会社

飼料は  まるきた印

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー配合飼料 肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料


北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号

TEL 石巻 0225 (22) 6111
FAX 石巻 0225 (22) 6116

事業名	事業のねらい	事業内容																					
肉用牛資源効率利用緊急対策事業	子牛価格低落時において、繁殖成雌牛及び繁殖雌子牛を農協等が買い上げ、規模拡大等の意欲を有する者に対して、貸付け等を促進することにより、肉用牛繁殖資源の維持・確保と効率的利用を図る。	① 繁殖成雌牛と殺防止事業 農協等が牛肉仕向けの繁殖成雌牛を買い上げ規模拡大等の意欲を有する者に貸付け等を行う場合に奨励金(1頭当たり48千円)を交付する。 ② 繁殖雌子牛導入育成事業 農協等が繁殖用として雌子牛を買い上げ、規模拡大等の意欲を有する者に貸付け等を行う場合に奨励金(1頭当たり61千円(県内導入)、67千円(県外導入63~72千円の平均)を交付する。																					
肉用牛肥育経営安定緊急対策事業	牛肉について現行の輸入制度から輸入枠撤廃に移行する過渡期においては、肉用牛の肥育経営の収益性が一時的に悪化し、牛肉生産全体が停滞を来すおそれがあることから、このような変化に対応し、肥育経営を継続するのに必要な経費を軽減する事業に対して助成し、もって肥育経営の安定的な維持発展に資する。	肥育牛1頭当たりの四半期平均推定所得が、販売価格の低落等により、四半期平均推定家族労働費を下回った場合、その後の経営を継続するのに必要となる経費を軽減するための助成を行う。 肉専用種肥育牛： 導入牛1頭当たり 1万7千円以内 乳用種肥育牛： 導入牛1頭当たり 7千円以内																					
畜産経営体質強化緊急特別指導事業	総合農協、専門農協、畜産会等が一体となって、模範となる畜産経営技術等の啓蒙指導を行うとともに、農協段階で特別指導班を編成し、経営・財務管理の面で体質の弱い個別経営の実践的指導を行うことにより、畜産経営の体質強化を図る。	① 生産経営技術向上対策 優良経営の実態調査、分析及び経営改善発表会等を実施するとともに、それらに基づき、模範的経営事例及び指導資料等を整備して啓蒙指導に活用する。 ② 経営・財務管理指導対策 農協段階に専門家を中心とした特別指導班を編成し、経営簿記帳から損益計算書、貸借対照表、経営計画等の作成指導を行うとともに、それらに基づき、具体的な収益性向上のための経営技術の改善指導を行う。 地方段階においては、農協指導員の研修等を通じて、経営・財務管理を中心とした農協等の経営指導活動に対し支援及び実践的指導を行う。																					
養豚経営安定資金特別融通助成事業	養豚経営の中で、借入金の償還が困難な経営に対し、経営の安定・合理化を図るため、財務管理指導の徹底と相まって、既貸付金の条件緩和等の措置とともに長期低利資金の融通を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>一般貸付</th> <th>特認貸付</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸付対象者</td> <td>個人：繁殖用雌豚 30頭以上 又は肥育豚 300頭以上 法人：繁殖用雌豚 90頭以上 又は肥育豚 900頭以上</td> <td>個人：繁殖用雌豚 45頭以上 又は肥育豚 450頭以上 法人：繁殖用雌豚 135頭以上 又は肥育豚 1350頭以上</td> </tr> <tr> <td>貸付期間</td> <td colspan="2">平成元年度から4年度までの4年間</td> </tr> <tr> <td>償還期間</td> <td>7年以内 うち 据置期間3年以内</td> <td>10年以内 うち 据置期間3年以内</td> </tr> <tr> <td>基準金利 末端利率 利子補給</td> <td>.85% 4.2%以内 2.15%以内 (中央畜産会)</td> <td>6.85% 3.5%以内 2.25%以内 (中央畜産会)</td> </tr> <tr> <td>自助努力</td> <td>0.5%以上 (農協等)</td> <td>1.1%以上 県：0.4%以内 農協等：0.8%以内</td> </tr> <tr> <td>融資機関</td> <td colspan="2">農協、農協連等</td> </tr> </tbody> </table>		一般貸付	特認貸付	貸付対象者	個人：繁殖用雌豚 30頭以上 又は肥育豚 300頭以上 法人：繁殖用雌豚 90頭以上 又は肥育豚 900頭以上	個人：繁殖用雌豚 45頭以上 又は肥育豚 450頭以上 法人：繁殖用雌豚 135頭以上 又は肥育豚 1350頭以上	貸付期間	平成元年度から4年度までの4年間		償還期間	7年以内 うち 据置期間3年以内	10年以内 うち 据置期間3年以内	基準金利 末端利率 利子補給	.85% 4.2%以内 2.15%以内 (中央畜産会)	6.85% 3.5%以内 2.25%以内 (中央畜産会)	自助努力	0.5%以上 (農協等)	1.1%以上 県：0.4%以内 農協等：0.8%以内	融資機関	農協、農協連等	
	一般貸付	特認貸付																					
貸付対象者	個人：繁殖用雌豚 30頭以上 又は肥育豚 300頭以上 法人：繁殖用雌豚 90頭以上 又は肥育豚 900頭以上	個人：繁殖用雌豚 45頭以上 又は肥育豚 450頭以上 法人：繁殖用雌豚 135頭以上 又は肥育豚 1350頭以上																					
貸付期間	平成元年度から4年度までの4年間																						
償還期間	7年以内 うち 据置期間3年以内	10年以内 うち 据置期間3年以内																					
基準金利 末端利率 利子補給	.85% 4.2%以内 2.15%以内 (中央畜産会)	6.85% 3.5%以内 2.25%以内 (中央畜産会)																					
自助努力	0.5%以上 (農協等)	1.1%以上 県：0.4%以内 農協等：0.8%以内																					
融資機関	農協、農協連等																						

(畜政係 佐藤 実)

<p>動物用 (牛専用) 医薬品</p> <h1>トルラミックス</h1> <p>特殊酵母+必須ビタミン+ミネラル配合</p> <p>株式会社 トーシン</p> <p>古川市古川字上古川屋敷9番地の1 TEL 0229 (24) 3 2 1 1 (代)</p>	<h2>夏バテ防止!</h2> <p>—くみあい飼料添加物—</p> <p>トリミッシュ(鶏用 ビタミン・ミネラル)</p> <p>トンミッシュ(豚用 ")</p> <p>牛ミッシュ(牛用 ") (ウシ)</p> <p>デーリーミッシュ(重曹・ビタミン) (酪農)</p> <p> 農協・宮城県経済連・全農</p>
--	--

第3回東日本和牛能力 共進会について

全国和牛登録協会宮城県支部

5年に1回、全国和牛能力共進会のミニ全共として北海道、東北六県、栃木、茨城の区域の和牛改良と増殖を図り、経済能力の向上、斉一化を促進し、和牛改良組合の発展と和牛経営の定着を図るために開催されます。当共進会は昭和55年に第1回として岩手県雫石町で開催、第2回はまだ記憶に新しいと思いますが本県鳴子町で(優秀な成績で)大盛會裡に開催され、そして第3回は平成2年9月21日より同9月23日迄の3日間福島県本宮町の福島県家畜市場で開催されることになりました。今や和牛の産地は東北、九州が中心であり全国的に当共進会への関心が高く、本県の改良の成果を発揮する絶好のチャンスであるので改良組合を中心に多数出品し、代表牛を参加されますようお知らせいたします。

なお、出品の区別と資格、頭数は、次の通りであります。

出品の区分

区別	月令範囲(生年月日)
第1区(若雌の1)	14~16カ月 (平成元年.4.21~元年.7.20)
第2区(若雌の2)	17~19カ月 (平成元年.1.21~元年.4.20)
第3区(若雌の3)	20~23カ月 (S63.9.21~平成元年1.20)
第4区(改良組合繁殖雌牛群)	別記
第5区(母系牛群)	16カ月以上 (平成元年.5.20以前)
第6区(父系牛群)	20~23カ月 (S63.9.21~平成元年1.20)

出品条件の詳細

第1区~第6区の共通条件

- 出品牛は4代祖まですべて登録牛であるもの。出品牛自身も登録牛または登録牛でなければならない。
- 出品牛は申込時において、所定の発育基準に合致すること。
- 出品牛はすべて自県産で、全和登認定の改良組合で生産したものとする。
- 出品牛の系統を4代祖まで調査した結果が遺伝的不良形質出現に関する育種牛の選定基準に抵触してはならない。
- 流死産は1産と数えないし、出品牛は生後からこの経験があってはいけない。
ただし、アカバネ病などによる判然たる理由がある場合はこの限りではない。
- 出品牛は他の区へ重複出品できない。

第4区(改良組合繁殖雌牛群)(抜すい)

- 出品牛自身の繁殖成績は次の条件を満たすこと。
 - 生後25カ月以内で初産を分娩していること。
 - 申込時点で出品牛はすべて3産以上の経産牛で、平均分娩間隔は420日以内であること。
 - その産子で、登録されたものは79点以上得点していること。
- 出品申込は6頭以内をもって1群とし、出品はこのうち4頭とする。
- 4頭相互の近縁係数は3%以上でなければならない。

第5区(母系牛群)(抜すい)


- 以前は高等登録群と称し、出品は個人で高等登録牛の母に娘牛2頭をもつての出品である。
- 母牛の条件は第4区の出品牛と同じく25カ月以内で初産分娩し、平均分娩間隔は420日以内であること。

第6区(父系牛群)(抜すい)

- 出品主体となる改良組合及び本会支所の規模は大体郡市単位ぐらいのものとする。
- 同一種雄牛の娘牛6頭以内をもって1群とし、出

2年連続上物数
日本一!

仙台牛銘柄推進協議会



正統の
育ちと味

動物用薬品器材のことなら 古い伝統
と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市青葉区上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL (225) 73330・73338・73339

仙台営業所 仙台市青葉区上杉三丁目3-8
022 (225) 7338~9

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28
0229 (34) 2018~9

仙北営業所 登米郡迫町佐沼字萩洗1
0220 (22) 2278

品はこの内4頭をもって1群とする。

3) 出品牛の父および母方祖父は産肉能力検定(間接検定)済であること。

参加道県	1区	2区	3区	4区	5区	6区	合計
9道県	13	13	13	(9)36	(9)27	(9)36	138
宮城県	2	2	2	(1)4	(1)3	(1)4	17

※詳しくは最寄の畜連支所にお尋ね下さい。
(指導課 安住英一)

平成元年度 宮城県畜産会事業の概要

宮城県畜産会

平成元年度の本会事業については、去る6月28日開催した第34回定時総会において承認されましたので、その概要をご紹介します。

本年度事業の基本方針は、牛肉の自由化、米を含む農畜産物の市場開放要請等非常に厳しい環境の下で、生産基盤の整備拡充による生産性の向上、経営体質の強化が急務とされる現状を踏まえ、会員との連繫を一層強化し、畜産農家の経営の安定合理化を図るため、基幹事業である経営診断指導事業に積極的に取り組み、真に足腰の強い畜産農家の育成に努めるとともに、畜産物の需給動向の適確な把握と需要に見合った計画生産を推進するため、県及び関係機関と密接な連繫に努め、畜産の展望に即した事業を展開し、畜産経営の安定的発展に資することとしております。

なお、畜産経営に係る生産経営技術の普及、奨励、大家畜々産の低コスト生産に資するための調査、指導、研修会、畜産共進会等諸事業も併せて実施します。

本年度の主たる事業は下記のとおりですので、関係各位の特段のご協力、ご指導をお願い申し上げます。

1. 畜産経営技術高度診断指導事業

高度な経営技術を基礎とした生産性の高い畜産経営の健全な発展を助長するため、畜産農家等を対象とし

た経営診断指導事業を実施いたしますが、その予定件数は別表のとおりです。

なお付帯する事業として、指導員研修会、優良畜産経営技術発表会を実施しますが、経営診断指導事業は、畜産振興資金借受農家の診断を除き、何れも農家、農協、市町村等の要請により実施しますので、最寄りの農業改良普及所、家畜保健衛生所経由のうえ本会あて申し込んで下さい。

(表) 平成元年度畜産経営技術高度
診断指導事業実施予定件数

畜種別	個別診断指導事業						畜産技術改良 中核農 家群育 成事業	共同利 用施設 診断 指導
	新規	再 診断	特別 診断	高度 技術	畜産 振興 資金	計		
酪農	事例 6	事例 3	事例	事例 7	事例 15	事例 31	事例 5	事例 1
肉用牛	10	5	1	8	25	49	5	
養豚	10	5		5		20	5	
養鶏	-	1				1		
計	26	14	1	20	40	101	15	1

2. 一般指導事業

(1) 宮城県総合畜産共進会の開催

時：平成元年9月29～10月1日

所：玉造郡鳴子町川渡、川渡家畜市場

出品家畜：乳用種牛54頭、肉用種牛91頭、種豚54頭

(2) 食肉供給予測調査事業

① 肉豚生産動向調査

② 肉豚生産出荷動向協議会の開催

(3) 畜産経営体質強化特別指導事業

① 先進的経営体調査 18事例

② 先進的畜産経営者協議会の開催

③ 畜舎建設及び保守管理検討会の開催

(4) 肉用牛生産経営技術改善事業

① 調査地域 25地域



株式会社 五十嵐商会
 仙台市若林区卸町五丁目1番地4
 電話 (022) 236-2525 (代表)

クスリの総合卸

株式会社 エーシン
 EISHIN

取締役社長 山田修造

畜産営業所 仙台市青葉区木町通り1-5-19 ☎(022)267-7211
 古川市福浦字道の上137-1 ☎(0229)24-1211

本社 仙台市若林区卸町2丁目10-3 ☎(022)284-8111

- ② 調査戸数 700戸
 - ③ 調査頭数 6,000頭(繁殖牛4,000頭,肥育牛2,000頭)
 - (5) 養豚需給調整安定対策事業
 - ① 需給調整対策委員会の開催
 - ② 計画達成推進練絡協議会の開催
 - ③ 子取り用めす豚飼養実態調査(8月,2月)
 - (6) 畜産経営環境整備調査事業(気仙沼,本吉地域)
 - (7) 酪肉基本方針普及啓蒙推進指導事業
 - ① 県推進会議の開催
 - ② 肉用牛生産合理化シンポジウムの開催
 - ③ 低コスト肉用牛生産普及啓蒙指導
 - ④ 低コスト生産経営及び新技術導入事例調査
 - (8) 大崎北部公社畜産基地建設策定事業(古川市,中新田町,岩出山町,鳴子町)
- その他,子豚需給調整対策事業,畜産機械施設貸付調査指導事業等も実施いたします。

肥育体系に基づき宮城県で肥育されたもので(社)日本食肉格付協会の「A-5」および「B-5」とする。

(2) 「仙台牛」の規格牛については,枝肉に押印標示する。

2. 指定基準及び指定店数

- (1) 卸売部門…年間おおむね50頭以上の「仙台牛」を買参する卸売業者
- (2) 小売店部門…パック肉及び対面販売において常時「仙台牛」の表示を行い,仙台牛銘柄推進協議会が主催するフェア等に参加できる店。
(1)(2)部門計,宮城県内73店,東北地区15店,関東地区43店,中京地区19店,合計150店
- (3) 提供店部門…メニュー及び店内に常時「仙台牛」の表示を行い,他の銘柄を取扱わない店。仙台市内13店。
- (4) 生産部門…年間120頭以上の肉牛(黒毛和種)を出荷し宮城県経済連の「仙台牛指定産地」に認定されている農協。

「仙台牛」取扱指定店について

宮城県経済農業協同組合連合会

牛肉輸入自由化を20ヶ月後に控え,国内産牛に及ぼす影響が懸念される一方,グルメ時代を反映してよりおいしく,かつ,安全な牛肉を望む国民の志向は年々増加しています。

このような情勢のなかで,国際競争更には国内の産地間競争に対応すべく,宮城県が誇る最高級品質「仙台牛」を広く消費者に紹介し,より一層の銘柄普及推進をはかるため下記のとおり仙台牛取扱店を指定しています。

さらに,今年度より「仙台牛」の生産基盤強化と有利販売を図るため,仙台牛指定産地として27農協を指定いたしました。

記

1. 「仙台牛」基準および銘柄標示

(1) 「仙台牛」の基準は黒毛和種とし,仙台牛生産

※『仙台牛』指定産地農協名

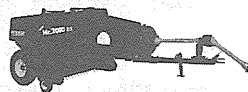
角田市農業協同組合	古川市農業協同組合
宮崎	賀美石
小野田町	色麻町
鹿島台町	小牛田町
宮城南郷	高清水町
金成町	志波姫町
尾松	迫町
登米町	宮城豊里町
南方町	米山町
中田町	志津川町
河北	大谷地
宮城北村	中津山
矢本町	宮城小野
北上町	以上27農協

(食肉販売課 小関)

より豊かな明日の農業のために

STAR

頼もしい働き者
牧草梱包稲わら梱包に!!



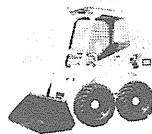
Mr1000 Mr2000DX
Mr3000DX, Mr4000DX

ヘーベラTHB2020

STAR-農機株式会社 仙台営業所

985 多賀城市町前2丁目87 TEL022-367-4573
FAX 367-4846

TCM東洋運搬機



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社
東北ティールシーエム株式会社

983 仙台市宮城野区中野字葦畔135-1
電話 022-259-6351

< 畜試便り >

第7回間接検定フィールド
検定結果について

宮城県では昭和55年から開始した和牛産肉能力間接検定は第7回検定まで終了しております。間接検定は10頭の調査牛の成績より種雄牛の能力検定をしていますが、検定精度の向上のための検定頭数増加の必要性、および間接検定が屠殺月齢が20か月齢と生産現場の实情から離れていることなど考慮した肥育試験の必要性からフィールド検定が生まれました。このフィールド検定は第7回間接検定から開始し、宮城県農業公社大郷牧場で行なわれております。

今回は、宮城県黒毛和種基幹種雄牛として認められた茂糸波および第2波茂のフィールド検定成績結果を中心に紹介します。

茂糸波 本牛は母方祖父牛に第7系桜であり、間接検定開始以来はじめて島根系の血統の種雄牛が造成されました。間接検定では期待されたDGが0.81kgでしたが、フィールド検定では0.78kgと肥育後半も体重増加量も他の3頭の種雄牛に比べ低下せず、さらにはBMSは2.11と肥育期間を5～6か月延長させることで脂肪交雑が改善されました。枝肉等級はA5率が66.7%、枝肉単価は2,288円であり、さらに宮城県の黒毛和種肥育牛の屠殺月齢が32か月齢と比較しても、収益性の高い種雄牛と思われます。本牛の体型的特徴は、体積・均称、特に前駆が充実しています。また、交配雌牛の父牛として波茂、秋重、南波竹との交配は産子の近交係数が6.25%を上回るので注意が必要です。

第2波茂 本牛は県内子牛生産の30%も占めている波茂の全兄弟牛です。間接検定成績は、優れた結果をしめし、このフィールド検定でも茂糸波に次ぐ、DG0.74kg、BMS1.89でありました。枝肉等級はA5が3頭、A4が4頭ですが、増体量を加味した1日当りの枝肉販売額では、1,073円と表3に示した検定済種雄牛と比較して上回っています。この種雄牛の産肉能力

の特徴はロース芯57cm²が太く、赤肉生産量が高い種雄牛であることです。体型は、体積と資質、特に体上線が優点としてみられます。波茂との使い分けが交配上の問題点として考えられます。波茂の子牛および肥育成績から比較しても、第2波茂は肥育素牛生産に適していると考えられます。(肉牛科 氏家 哲)

表1 新しい宮城県黒毛和種基幹種雄牛

種雄牛名	生年月日	血統		生産地
		父	母方祖父	
茂糸波	59. 9. 15	茂重波	第7系桜	登米郡南方町
第2波茂	59. 11. 2	茂重波	神鉄8の6	遠田郡南郷町

表2 間検フィールド検定成績一覧¹⁾

種雄牛名(頭)	調査頭数	出荷時体重(kg)	DG(kg)	ロース芯面積(cm ²)	脂肪交雑(BMS)	枝肉等級 ²⁾			
						A5	A4	A3	A2
茂糸波	9	648.6	0.78	56	2.11	6	3		
茂栄	10	607.9	0.66	55	1.87	4	5	2	
第2波茂	9	628.9	0.74	57	1.89	3	4	3	
糸安波	10	648.3	0.79	48	1.27	1	3	3	3

- 1) 宮城県農業公社大郷牧場で実施(昭和62年10月～平成元年5月)
- 2) 日本食肉格付協会牛枝肉格付け明細書に基づく

表3 検定済種雄牛との産肉成績の比較

種雄牛名	調査頭数(頭)	屠殺月齢(月)	枝肉重(kg)	枝肉単価(円)	1日当り ³⁾ 枝肉販売額(円)
秋重 ¹⁾	4	30.3	416.5	2,231	1,022.2
宮滝 ¹⁾	32	32.6	436.0	2,142	954.9
波茂 ¹⁾	113	34.8	414.6	2,210	877.6
安美1 ¹⁾	17	32.4	399.4	2,302	945.9
茂糸波 ²⁾	9	25.3	382.5	2,288	1,147.7
第2波茂 ²⁾	9	25.0	380.2	2,133	1,073.7

- 1) 産肉性調査事業成績(昭和63年度中間集計)
- 2) 間検フィールド検定成績結果
- 3) 1日当り枝肉販売額=(枝肉重×枝肉単価)÷屠殺日齢

畜産の健康と未来に貢献する

獣医薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市卸町66番地
TEL 0198 264151(代)

古川営業所 宮城県古川市稲葉字大江向179-1
TEL 0229 238888(代)

花巻営業所 水沢営業所 青森営業所
盛岡営業所 大館営業所 八戸営業所
大船渡営業所 横手営業所 山形営業所
酒田営業所 福島営業所

ORION

ともに前進 技術のオリオン

酪農家の

声を反映した製品づくりと安心の
おけるアフターサービスは
オリオングループの誇りです。

東北オリオン株式会社

本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)284-0691
宮城営業所 古川市福浦字道の上106番1号
☎989-61 TEL古川(0229)23-1631

と畜検査からみた豚の慢性疾病の発生とその対策

昭和63年度の仙北食肉衛生検査所の調査によると、健康畜として搬入された豚 85,148 頭の有疾病率は51.1%で、実に半数以上の豚がなんらかの慢性疾病を有していました。このような高い有病率の裏には死亡やと畜場での部分・全廃棄といった直接的なものだけでなく、発育遅延、飼料効率の低下、飼養回転の鈍化、治療費の増加など目に見えない養豚経営に対する損害が隠されています。

疾病の内訳でみると、呼吸器病と消化器病が8割を占め、うち流行性肺炎(SEP)、寄生性肺炎、胸膜肺炎の3疾病だけで全体の約60%に達しておりその浄化対策が重要であると思われます。出荷農協別にみた有病率には40.2~73.4%と30%以上の差があり、特に寄生性肺炎の発生率は5.8%~47.0%と地域的に顕著な差が認められ、飼養・衛生管理の違いが疾病発生に影響を与えていると思われます。

慢性疾病の浄化対策には、以下に示すような基本的な飼養・衛生管理を確実に実施していくことが重要です。

①豚舎内の適正な温度と湿度の確保。②豚舎の換気。③密飼いの防止。④適正な飼料給与。⑤導入豚の適正な選定と隔離観察。⑥移動豚房の徹底消毒と定期的な豚舎消毒。⑦踏込消毒槽の設置。⑧異常豚の早期発見治療。⑨繁殖候補豚の選定。⑩家畜保健衛生所、獣医師の指示のもとにワクチン、駆虫剤、抗生剤等の投与プログラムを作成し実行する。

慢性疾病の対策には多くの時間と労力を要する上にその効果がすぐに現われにくいいため放置されがちですが、ひとつひとつの努力の積み重ねによって慢性疾病の損耗の軽減を図ることは可能であると思われます。

(仙台家畜保健衛生所病性鑑定課 伊藤 敦)

随想

ヘルパー事業に思うこと

ヘルパー事業が、最近再び話題にあがってきました。大部前(年次忘却)に、補助事業としてスタートした記憶があります。この事業も補助がなくなると、自然消滅又細々の運営を辿っているものと、一方、これをテコとして発展充実をして進めているものがあります。

再び、ヘルパー事業が話題になってきたことは、近時安定した経済成長の中で、国際的にも働き過ぎの日本人が、労働時間の短縮、自分の生活を見つめる時間の確保から、土曜日休みの週休2日制が拡大している。その中で「酪農家だって」休みたい、余暇を楽しみたい気持は同じであります。

昭和63年12月全酪連が実施した全国の「ヘルパー事業に関するアンケート調査報告」によりますと、対象会員325、回収会員141、回収率43.4%で事業に対する取組みについては、ヘルパー事業を実施しているのが41.1%、将来実施したいが27%、今後とも実施は考えていないが31.9%となっております。それぞれの結果について思うことは、

①実施している=会員と組合員との理解が大きく組織ぐるみの事業である。料金負担能力の余裕、不時の対応又余暇を楽しむ余暇型があります。

②将来実施したい=ヘルパー要員の確保、身分保障が出来ない等から組織自体未だまともまらない。

③将来予定なし=組織自体又酪農家の取組み意欲の欠陥、酪農家から言わせれば自分の経営、財産は自分が守る信念もあります。

いずれにしても、第一には会員組織の取組む姿勢と酪農家の必要性の相互理解が必要だと思います。

必要なことは実施しなければならないことを基本的に今後進めて行かねばならないと思います。

(宮城県生乳販売農業協同組合連合会

参事 猪狩善三郎)

「みやぎの系統豚」の名称募集について

宮城県では昭和58年度から県の畜産試験場で肉質が良く発育に優れた種豚(ランドレース種系統豚)づくりを進めてきましたが、来年の春にはデビューします。この系統豚が養豚農家に親しまれ、また、多くの方々に宮城県産であることを連想させるような名称を募集しますので、ふるって御応募下さい。

◎名称の基準

名称はカナ書きとし、その理由も併記して下さい。

◎応募の方法

応募者は官製はがきに名称(理由)を1つだけ書き郵便番号、住所、氏名、職業、年齢を明記して宮城県農政部畜産課(〒980 仙台市青葉区本町3-8-1)へ9月30日(当日消印有効)までお送り下さい。

名称は、ランドレース種系統豚名称選定委員会で選定します。なお、選定された名称を寄せられた方の中から3名並びに応募された方の中から10名に抽選のうえ記念品を贈呈いたします。

〔昭和 63 年度〕

肉専用子牛の種雄牛別市場取引状況

(社)宮城県肉用牛価格安定基金協会調

当基金協会がご承知のとおり子牛価格差補てん等を実施するため肉専用子牛の市場開設者より毎月の市場成績(市場名簿)をご報告いただき、これに基づいて取引頭数、価格、体重、生体kg当たり単価等を計算し県を始め全国基金、県内の指導機関および会員の市町村、農協等に資料提供するとともに、価格補てん、高騰時積立金等の貴重な資料を作成して今日に至っております。即ちこれら資料作成に当たっては昭和 63 年度からパソコンを導入して迅速に計算するようにしておりますがこの過程で次のような市場取引状況も把握されますので今回は昭和 63 年度の主な種雄牛 8 頭(県内子牛取引頭数の約 3/4 に相当)の取引成績について参考までご報告します。

1. 主な種雄牛別の市場取引頭数 単位 頭, %
 (1) 主な種雄牛(8 頭)の生産子牛の市場取引頭数は小計で示すとおり県全体の 75.9%となる。
 (2) 市場取引頭数の多い種雄牛は、谷茂、秋重、波茂、森正の順位で、茂重波は全体の 5.8%に過ぎない。

番号	種雄牛名	雌	去勢	計	県全体の構成比
1	茂重波	473	737	1,210	5.8
2	秋重	1,568	1,813	3,381	16.2
3	波茂	1,437	1,752	3,289	15.3
4	宮滝	450	560	1,010	4.8
5	安美金	282	415	697	3.3
6	谷茂	1,451	1,922	3,373	16.2
7	森正	821	1,042	1,863	8.9
8	安谷	460	612	1,072	5.1
	小計	6,942	8,853	15,795	75.9
	県全体合計	9,214	11,592	20,806	100.0

2. 主な種雄牛別の市場取引金額 単位:千円, %
 市場売上金額の上位は、谷茂、秋重、波重の順であり、去勢は全体の 61.6%、雌は 39.4%の割合となる。取引総額は 97 億 2 千 9 百余万円となる。

番号	種雄牛名	雌	去勢	計	県全体の構成比
1	茂重波	312,234	450,946	763,180	7.8
2	秋重	595,669	866,856	1,462,525	15.0
3	波茂	553,278	844,845	1,398,123	14.3
4	宮滝	182,875	284,712	467,587	4.8
5	安美金	133,008	230,514	363,522	3.7
6	谷茂	614,058	1,007,922	1,621,980	16.6
7	森正	326,370	512,203	838,573	8.6
8	安谷	196,224	326,560	522,784	5.4
	小計	2,913,716	4,524,558	7,438,274	76.4
	県全体合計	3,839,792	5,890,020	9,729,812	100.0

3. 主な種雄牛別子牛の市場最高、最低価格調単位:千円
 主な種雄牛(8 頭)の生産子牛の市場取引最高、最低価格であるが県全体の最高価格は他種雄牛(雌~糸桜)である。

番号	種雄牛名	最高価格		最低価格	
		雌	去勢	雌	去勢
1	茂重波	1,390	724	321	312
2	秋重	923	522	84	81
3	波茂	578	551	205	60
4	宮滝	674	574	274	352
5	安美金	761	658	210	74
6	谷茂	706	291	22	74
7	森正	560	573	61	160
8	安谷	701	588	145	125
	小計	1,390	724	22	60
	県全体	1,807	875	-	-

4. 主な種雄牛別子牛の市場平均価格調 単位:円, %
 雌、雄の県平均価格を 100 とし各種雄牛価格の対比では平均以上が茂重波、安美金、安谷、谷茂の順となり宮滝、森正、波茂、秋重は平均以下となる。

番号	種雄牛名	雌	去勢	平均	県平均価格と対比
1	茂重波	660,114	611,867	630,727	134.8
2	秋重	379,891	478,133	432,572	92.5
3	波茂	385,023	482,217	438,421	93.8
4	宮滝	406,389	508,414	462,957	99.0
5	安美金	471,660	555,455	521,552	111.5
6	谷茂	423,196	524,413	480,872	102.8
7	森正	397,527	491,558	450,120	96.3
8	安谷	426,574	533,595	487,672	104.3
	小計	-	-	-	-
	県全体平均価格	416,735	508,111	467,645	100.0

5. 主な種雄牛別子牛の市場に於ける出荷体重、日令等調 単位:kg 日 G
 (1) 出荷体重の重いのは安美金、茂重波、秋重、波茂の順位である。
 (2) 出荷日令は森正、安美金、茂重波が多い。
 (3) 1 日当たりの体重(生体重不明につき正式な増加とまらない)は安美金、谷茂、秋重、宮滝の順位となる。

番号	種雄牛名	出荷体重			出荷日令			1 日当たり体重		
		雌	去勢	平均	雌	去勢	平均	雌	去勢	平均
1	茂重波	268	302	289	313	309	311	856	977	929
2	秋重	272	301	288	311	299	305	874	1,006	944
3	波茂	267	297	284	310	302	306	861	970	928
4	宮滝	268	300	285	309	296	302	867	1,013	943
5	安美金	346	359	354	319	309	313	1,084	1,161	1,130
6	谷茂	273	304	291	309	299	303	883	1,016	960
7	森正	249	282	268	320	310	314	778	909	853
8	安谷	262	291	279	315	302	308	831	963	905
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	県全体	267	298	284	313	303	307	853	983	925

人の動き

宮城県畜産農業協同組合連合会 6 月 10 日付
 常務理事(参事兼事業部長) 太田 正巳
 参事兼総務部長(総務部長兼総務課長) 大野 朝男
 事業部長兼指導課長(指導課長) 高橋 亮
 ” 次長兼業務課長(業務課長) 小室 盛
 総務課長兼経理課長(経理課長) 佐々木孝志

宮城県農業共済組合連合会 7 月 1 日付
 退職<6 月 30 日付>(総務部長兼電子計算室長) 菊地 忠雄
 総務部長兼電子計算室長(事業第二部長) 千葉 治敏
 事業部第二部長(同部長待遇) 菅原 通正
 園芸課長(家畜課長) 菊地 重夫
 家畜課長(園芸課長) 太田 甚一

宮城県畜産会 6 月 30 日付
 退職(畜産コンサルタント補) 石ヶ森周一